

### どろんこ会グループの性暴力防止への取り組みが こども家庭庁『令和8年版こども白書』に掲載

～2026年12月施行「こども性暴力防止法」に向け、民間事業者の実践例として～

こども家庭庁が公表した『令和8年版こども白書』に、どろんこ会グループ（本社：東京都渋谷区）の性暴力防止に関する取り組みが民間事業者の先進事例として紹介されました。どろんこ会グループでは、子どものからだを命を守ることを目的に、2003年より、性暴力を未然に防ぐための組織的かつ多角的な取り組みを継続してきました。



性的虐待の定義・対応フロー制定や、研修の実施



5歳児対象性教育プログラム



死角の少ない園舎設計

### 『令和8年版こども白書』掲載概要

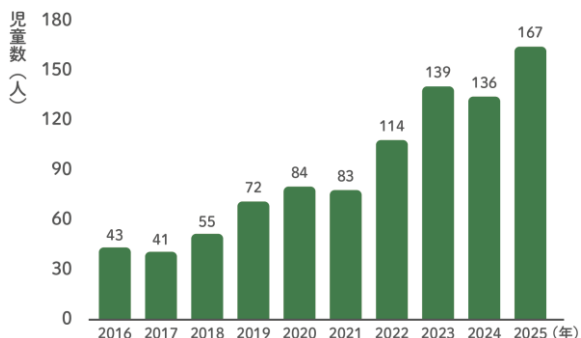
- ・ **掲載資料** : 令和8年版こども白書（こども家庭庁）
- ・ **掲載ページ** : p.31～32  
「特集3 こどもへの性暴力をなくすための総合的な取組の推進—こどもが安心して学び育つことのできる場の確保—」
- ・ **掲載テーマ** : こどもへの性暴力防止に関する民間の取組
- ・ **掲載内容** : 民間事業者の性暴力防止に向けた体制整備の具体的な取り組みとして、どろんこ会グループの実践が紹介されています。



出典：こども家庭庁『令和8年版こども白書』概要版p.1（2026年）

### 急増する児童被害と、2026年12月の「こども性暴力防止法」施行

#### ■ SNSに起因する性犯罪等被害児童数<小学生>の推移



出典：警察庁「少年非行及び子供の性被害の状況」（令和7年）をもとに作成

こども基本法に基づく年次報告書である『令和8年版こども白書』では、児童買春事犯等の検挙件数が過去10年で最多を記録するなど、子どもへの性暴力の深刻な現状が報告されています。特にSNSに起因する被害が目立っており、2025年の小学生の被害者数は10年前の約4倍を記録。就学前からの未然防止のアプローチは、いまや社会全体の急務となっています。

こうした中、2024年6月に成立した「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」が、今年2026年12月25日に施行される予定です。国を挙げて事業者への性暴力防止の義務化や機運醸成が進むなか、どろんこ会グループが法制化に先駆けて長年実践してきた防犯・教育体制が先進事例として注目され、今回の白書掲載に至りました。

## 白書に掲載されたどろんこ会グループの主な取り組み

どろんこ会グループでは、子どもへの性教育をはじめとした様々な性暴力防止対策に取り組んでいます。

### 1. 子ども・保護者への啓発

2003年より毎年、全施設の5歳児へ「プライベートゾーン」等を伝える性教育プログラムを実施。保護者会等でもその意義を共有。



性教育プログラムで胎児の成長を知る

### 2. 性的虐待の定義と対応フロー（2016年制定）

性的虐待の定義を明確化し、疑いが生じた際の「初動対応フロー」や「服務規律」を「保育品質マニュアル」に制定。

### 3. 死角の少ない施設環境と巡回体制

保育室の壁をなくす等の「死角をつくらない園舎設計」に加え、施設長・主任による不規則な巡回を実施。



全内定者向けに「こども性暴力防止法」に関する研修を実施（2026年）

### 4. 職員研修の定期実施

性や人権・虐待に関する研修に加え、発生時を想定したシミュレーションやケーススタディによる実践的な研修を実施。

### 5. 保護者の相談・早期発見体制

Web、電話、ご意見BOXなどさまざまな相談窓口を設置し、アンケートや面談を通じて早期発見に努める体制を整備。



保護者からの多様な相談体制を構築

## 代表者コメント ～全国約3,000人のスタッフと紡ぐ子どもの「からだと命」を守る保育～ どろんこ会グループ 理事長 安永愛香



23年前、園長として現場にいた頃から「嘘やごまかしのない子育てを」という願いのもと、性教育や体制整備を続けてきました。かつては保護者からの猛反発もありましたが、目を背けず丁寧に向き合ってきた実践が今、こども性暴力防止法の施行を機に国や社会の賛同を頂き、参考にさせていただけるのだとしたら、これ以上の喜びはありません。

マニュアルの制定は、ベテランを含む全保育士が「これまでの当たり前」から脱却し、正しい共通認識を持つために不可欠でした。保育士が絶対に忘れてはならないのは、子どもたちが「半年後には保育園から急に広い世界へ羽ばたく」という視点です。常に外の世界をイメージして日々の保育にあたることで、生活の中で正しい教育が行われ、結果として子ども自身が自らの「からだと命」を守る力を育むことができます。

現在、全国に約3,000人のスタッフがいます。全てのスタッフ一人ひとりがこの思いを共有し、温度差なく取り組んでいけるよう、いま改めて身が引き締まる思いです。

## どろんこ会グループについて

- 理念：「にんげん力。育てます。」
- 事業内容：保育事業、児童発達支援事業、就労支援事業、農業、研修事業、旅行事業（ほか）
- グループ内法人：社会福祉法人どろんこ会、株式会社日本福祉総合研究所、社会福祉法人愛育会（理事長 代表取締役 安永愛香）  
株式会社ゴーエスト、株式会社南魚沼生産組合、株式会社Doronko Agri（代表取締役 高堀雄一郎）
- 施設数：約200施設 ●職員数：約3,000人 ●利用者数：約10,900人（以上2026年5月1日時点）
- HP：<https://www.doronko.jp>

**Doronko**

【本リリースに関するお問い合わせ先】  
どろんこ会グループ（東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR 渋谷ビル13F）  
広報部 小出 TEL：03-5766-8059 Email：koho@doronko.jp